2016年「住宅研究・交流集会」　　【住生活基本法10年の検証・第5回講座】

「住宅建設・供給の実態と住宅市場政策を考える」

日　時　2016年10月8日（土）13時30分～17時
会　場　新宿区・保育プラザ2階研修室（新宿区納戸町26－3、案内下図）
趣　旨　住生活基本法第三条は「・・・社会経済情勢の変化に的確に対応しつつ、住宅の需要及び供給に関する長期的見通しに即し、かつ、居住者の負担能力を考慮して・・国民の住生活の基盤となる良質な住宅の供給、建設、が図られることを旨として、行われなければならない」とあります。10年を検証し、住宅市場政策を考えます。

シンポジウム

メインコメンテーター　川崎直宏（市浦ハウジング＆プラニング副社長）
コーディネーター　坂庭国晴（住まい連代表幹事・日本住宅会議理事）

（各報告テーマは仮題）

報告Ⅰ　住宅建設・供給の推移と特徴ー現状と課題をどう見るか
鎌田一夫（新建築家技術者集団）

報告Ⅱ　中小建設業と住宅市場の実態ー現状と課題
萩原　幸＆吉田広子（新協建設工業・株）

報告Ⅲ　欠陥住宅問題とマンション管理ー現状と課題
荻野広巳（建築ネットワークセンター）

● 会場からの発言、質疑・討論

（資料代500円・払える人のみ）

会場→案内図

「牛込神楽坂駅」徒歩8分、JR「市ヶ谷駅」徒歩15分、東京メトロ有楽町線「市ヶ谷駅」徒歩10分

〔開催団体〕
国民の住まいを守る全国連絡会（住まい連）、
日本住宅会議・関東会議
住まいの貧困に取り組むネットワーク
〔連絡先〕
ＮＰＯ住まいの改善センター
℡３８３７－７６１１